



BUNBUN通信

2004

5月号

Vol.26

2004年5月1日発行 発行/株式会社ナルミ 〒043-0104 爾志郡乙部町字館浦686-2 発行責任者/株ナルミ通販事業部 鳴海周平

ナルミ
スタッフの
言いたい放題!
Vol.23

こんにちは! お客様係の鳴海周平です!

乙部町もようやくストーブの要らない季節になりました! チューリップや水仙など、春の花もいっせいに咲き始めました。小さい頃から何かこの時期ってワクワクするんですよね。小学校の時のクラス替えとか、担任の先生が誰になるか、とか…。我が家の息子も今年は小学校2年生、下の娘も今年から保育園です。きっと同じようなワクワク感、味わっているのかなあ。

ココろとからだの vol.25

健康タイム

「この世にふたつとない?」

雪の結晶、きれいですよ。静かに降ってくる雪がコートなんかについた時に、ほんのわずかの間ですが、この空からの芸術品を見ることが出来ます。

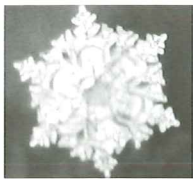
ところでこの「雪の結晶」ふたつと同じ形のものはないって知ってました? 私たちの指紋と同じように、それぞれが個性をもっているのが「雪の結晶」なんです。

「雪はもとも水、という事は水の状態も結晶にすることによってその状態がわかるのではないだろうか?」

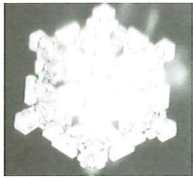
この発想をすぐ行動に移し、苦労の末に「氷結結晶写真撮影技術」を開発したのが、IHM総合研究所の江本勝所長です。江本所長曰く、「自然湧水や美味しいと感じる水はとてもきれいな六角形をしています。いつほうで塩素などの保存成分を多く含んだ水道水などは、ほとんど結晶が確認出来ません。」つまり、私たちがふだんお世話になっている水は、あまり良い状態とはいえないようです。

水の結晶を観察すると

自然の湧水も、その土地によって様々な形の六角形が確認されています。



▲北海道幌別川の結晶写真



▲滋賀県安曇川の結晶写真



▲東京都墨田川の結晶写真

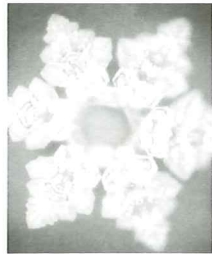
私たちのからだの70%は水で出来ています。この体内の水がどんな状態にあるかで健康は大きく左右されてしまいます。今回はたいせつな「水」のお話です。



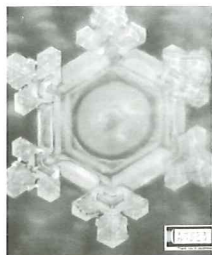
では、音楽を聴かせたり、写真や言葉を見せたらどうなるでしょう?



▲ビートルズの「イエスタデイ」を聴かせた水の結晶写真



▲メンデルスゾーンの「結婚行進曲」を聴かせた水の結晶写真



▲「ありがとう」の文字を見せた水の結晶写真



▲「ばかやろう」の文字を見せた水の結晶写真

こうした実験からわかるように、私たちがふだん心地よいと感じる音や言葉、文字、風景などに対しては、水もとてもきれいな結晶を現してくれます。

私たちのからだの70%を占める水を、いかにきれいな状態に保つかは、周りをいかに心地よい環境にしていけるか、ということでもあるんですね。

「ありがとう」という感謝の気持ちを言葉にして表現することで、あなたの周囲の結晶がきれいになっていったら、あなた自身もこのところからだも、きっと健康になっていくでしょう。

毎週水曜日 AM9:15~AM9:25
FMイルカ(80.7MHz)で「ココろとからだの健康タイム」オンエア中!
毎月月末発行のフリーペーパー
北海道(道南エリア) 生活情報誌「ダテパー」5月号掲載